

テーマ別読み聞かせリスト⑦

## いのちの大切さを考える絵本

東村山市立図書館  
平成17(2005)年2月

### かみさまからのおくりもの

ひぐちみちこ／著 こぐま社 (モモEヒク)

「よく笑う」という贈り物をもらった赤ちゃんは、よく笑う明るい子どもになりました。みんなは、どんな贈り物をもらったのでしょうか？低学年向き。

### おとうさんがおとうさんになった日

長野ヒデ子／作 童心社 (シロEナカ)

赤ちゃんが生まれて、お父さんは“お父さん”になりました。『おかあさんがおかあさんになった日』もあります。

### うちにあかちゃんがうまれるの

いとうえみこ／文 伊藤泰寛／写真 ポプラ社 (シロEイト)

まなかちゃんのうちに赤ちゃんが生まれることになりました。お母さんは病院ではなく、家で赤ちゃんを産むことにしました。臨場感のある写真絵本です。

### さっちゃんとなっちゃん

浜田桂子／さく・え 教育画劇 (シロEハマ)

さっちゃんはなっちゃんが好き、なっちゃんはさっちゃんが好き。2人は仲良しだけど全然似ていない。同じじゃないんだよ……。低学年向き。

### せかいいちうつくしいぼくの村

小林豊／作・絵 ポプラ社 (シロEコハ)

アフガニスタンの小さい村に暮らすヤモという男の子の家族を中心に、人々の生活を描いています。ぜひ『ぼくの村にサーカスがきた』『せかいいちうつくしい村へかえる』の3冊セットで読んでください。

### 100万回生きたねこ

佐野洋子／作・絵 講談社 (シロEサノ)

100万回死んで、100万回生きた猫がいました。1度も泣いたことがない猫が泣いたのは、どんなときだったのでしょうか？

### わすれられないおくりもの

スーザン・バーレイ／さく・え 小川仁央／訳 評論社 (シロEハレ)

親切なアナグマが年をとって死んでしまい、動物たちは悲しみます。でも、みんなにはアナグマとの思い出が残されていました。

### みんなぜんぶいろんな

中川ひろたか／文 奥田高文／写真 ブロンズ新社 (ミトEソノタ)

みんないのち、ぜんぶいのち、いろんないのち。写真が鮮やかです。おまけ向き。